

## 平成 30 年度 第 8 回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 平成 30 年 11 月 7 日 (水) 14 : 15 ~ 17 : 15

2 場 所 1609 会議室

3 出席者 (14 名)

学内 : 藤野(昭)、中山、齋藤、原田、矢寺、阿南、庄司、藤木、藤野(善)、檜本  
学外 : 櫻井、安元、田中、小川

欠席者 (2 名)

学内 : 足立、長野  
学外 : なし

4 報告事項等

(1) 平成 30 年度第 7 回産業医科大学倫理委員会議事抄録(案)について

藤野(昭)委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 平成 30 年度第 7 回産業医科大学倫理委員会専門委員会(10 月 17 日開催)について

齋藤委員長から、審査結果等について、資料に基づき、次のとおり報告があった。

1) 平成 30 年度第 6 回産業医科大学倫理委員会専門委員会議事抄録(案)が、原案どおり承認された。

2) 第 7 回産業医科大学倫理委員会の報告を行った。

3) 新規申請 1 件、継続審査 1 件及び変更申請 1 件について、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で承認することとした。

(3) 平成 30 年度第 7 回迅速審査小委員会(持ち回り)について

中山委員長から、11 件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する研究実施責任者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした、その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

5 審議事項等

(1) 臨床研究実施計画(プロトコル)審査委員会による審査の実施について

藤野(昭)委員長から、今回の新規申請 37 件のうち、9 件(一般 ⑱~㉔)については、臨床研究推進センターの臨床研究実施計画(プロトコル)審査委員会に事前審査を依頼したこと、当該委員会委員の指摘事項等に関する研究実施責任者の対応及び修正内容について自身が確認し、承認することとした、その内容は資料のとおりであるとの報告があり、承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請

① 実施責任者: 医学部 泌尿器科学 講師 富崎一向

研究課題名: 腎癌に対する手術療法の効果および安全性に関する検討

審査要旨: 審査の結果、事前審査の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

- ② 実施責任者： 医学部 第1外科学 准教授 柴尾和徳  
 研究課題名： 胃癌・食道癌に対する手術、抗がん剤など包括的治療の効果と予後に関する検討  
 審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。  
 [指摘事項]  
 オプトアウトのための情報公開文書  
 各項目の書き始めは1文字分スペースを設け、体裁を整える。
- ③ 実施責任者： 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授 鈴木秀明  
 研究課題名： 騒音性難聴による生活の質と労働生産性の低下を防ぐ予防から発症後まで俯瞰したデータ収集と現場の支援  
 審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。  
 [指摘事項]  
 倫理審査研究計画書  
 5. 実施計画 2) 対象者の目標人数  
 具体的な目標人数はどの程度を考えているのか。
- アンケート用紙  
 本研究に参加することに同意するかどうかの確認欄が必要と思われる。研究代表者に本学倫理委員会で指摘があったことを伝えた上で対応を検討する。
- ④ 実施責任者： 産業医科大学病院 緩和ケアセンター 助教 大塚悠加  
 研究課題名： がん患者の向精神薬量に及ぼす背景因子の検索  
 審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。  
 [指摘事項]  
 倫理審査研究計画書  
 4. 実施概要 1) 研究の背景  
 3行目『アドヒアランス』については日本語の説明が必要である。  
 7. 実施事項等における倫理的配慮について 4) 代諾者からインフォームド・コンセントを受ける場合の選定方針  
 死亡した研究対象者もいることから、『該当なし』は誤りであり、修正が必要である。  
 オプトアウトのための情報公開文書の標題にも『及びご家族の方』を追加する。
- オプトアウトのための情報公開文書  
 標題  
 『緩和ケアチームが介入した患者』とあるが、『介入した』は適切な表現に改める。
- ⑤ 実施責任者： 産業医科大学病院 病理診断科 講師 松山篤二  
 研究課題名： 異形脂肪腫様腫瘍から脱分化型脂肪肉腫への脱分化の分子機序解明  
 審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。  
 [指摘事項]  
 参加者の患者さんへの説明文書

## 標題

所定の様式に従い、「参加者の方（患者さん）への説明文書」に改める。

### 4. 研究の背景・目的・意義

『脱分化型脂肪肉腫』、『脱分化現象』は、対象者にわかりやすい説明を必要である。

### 5. 研究の方法 2)

次世代シーケンス解析は外部業者に委託することの記述を追加する。

### 7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

1 行目『生体試料提供者』は、『あなた』に改める。

### 14. 研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況

(株)臨床病理医学研究所と(株)キョーリンパーセルから拠出される研究費について、負担割合を記述する。

- ⑥ 実施責任者：産業医科大学病院 小児科 助教 齋藤玲子  
研究課題名：小児肥満および尿糖陽性者におけるサイトカインと酸化ストレスの検討  
審査要旨：審査の結果、事前審査の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

- ⑦ 実施責任者：産業医科大学病院 小児科 助教 齋藤玲子  
研究課題名：持続血糖測定器を用いた新生児の血糖推移の検討  
審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

#### [指摘事項]

参加者の方（患者さん）の保護者の方への説明文書

### 12. 個人情報の取り扱い

3 行目『保管庫で保管したのち保管した後に』は誤植である。

- ⑧ 実施責任者：産業医科大学病院 腎センター 副部長・講師 宮本 哲  
研究課題名：血液透析患者における体液貯留および高血圧とバソプレッシンの関与  
審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

#### [指摘事項]

倫理審査研究計画書

### 4. 実施概要 1) 研究の背景

AVP という表記について、『バソプレッシン (AVP)』と『AVP (コペプチン濃度)』という記述があるので、整理する必要がある。

### 7. 実施事項等における倫理的配慮について 4) 代諾者からインフォームド・コンセントを受ける場合の選定方針と手続方法

誤植がある。4 行目 自由意志→ 自由意思

### 12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 1) 保管方法

匿名化すること、その方法について具体的に記述する。

### 12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 3) 二次利用の有無

長期保管するのであれば、5 年間ではなく、例えば 10 年間などに変更が必要である。

参加者の方（患者さん・または代諾者の方）への説明文書

『患者さん』と『患者さんご本人』が混在しているので、『患者さん』に統一する。

8. 研究が実施又は継続されることに同意した場合であっても随時これを撤回できることについて

最後の3行『この研究の参加に同意した後に、患者さんご本人が研究の参加条件にあてはまっていない（あるいは参加してはいけない条件にあてはまる）ことが分かった場合も、研究を中止します』は削除する。

- ⑨ 実施責任者：産業医科大学病院 総合周産期母子医療センター 助教 市川 俊  
研究課題名：重症未熟児網膜症に対してベバシズマブ硝子体注射を受けた児の予後の検討

審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

代諾者の方への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

8行目『VEGF』について英語の綴りと日本語の説明を追加する。

12. 個人情報の取り扱い

3行目『あなたの』は『あなたのお子さんの』に改める。

- ⑩ 実施責任者：医学部 産科婦人科学 助教 原田大史

研究課題名：低酸素環境下の無血清培養によるオートファジーを利用した腫瘍細胞の分化転換

審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要 1) 研究の背景

11行目から13行目の『オートファジーは細胞内の蛋白等を組み替えて、細胞内で再利用するシステムである』は、正確な表現ではないので、改める必要がある。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 1) 保管方法

生体試料の保管先の記述が、冷凍庫と冷蔵庫の2種類あるので、統一する必要がある。

参加者の方（患者さん）への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担並びに予想されるリスク

1行目に『患者さんご本人』という表現があるが、他の項目と同じく『あなた』に改める。

15. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

記載例の文章を追加する。

- ⑪ 実施責任者：医学部 第2病理学 教授 中山敏幸

研究課題名：胃癌の所属リンパ節におけるCD169陽性マクロファージと胃癌の生命予後の関連性

審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。  
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施責任者である中山委員は退席した。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

20. その他 20-2 引用文献

ジャーナルの表記方法が不ぞろいであるので、整理する。

オプトアウトのための情報公開文書

標題

研究内容を踏まえれば、『患者さん』の次に『及びご家族の方』を追加する必要がある。また、倫理審査研究計画書「7. 実施事項等における倫理的配慮について 4) 代諾者からのインフォームド・コンセントを受ける場合の選定方針と手続方法」の記述も変更が必要である。

- ⑫ 実施責任者： 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野善久

研究課題名： 暖房方式が居住者の健康に与える影響に関する調査

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施責任者である藤野(善)委員は退席した。

- ⑬ 実施責任者： 医学部 微生物学 教授 齋藤光正

研究課題名： 口腔粘膜疾患と口腔細菌、真菌との関連についての検討

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施責任者である齋藤委員は退席した。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法

必要と判断した症例に対してヨード生体染色を行うことを参加者の方（患者さん）および代諾者の方への説明文書の「5. 研究の方法」に記述する必要がある。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担及び予測されるリスク

『病変部と正常粘膜の擦過時とうがい液の回収時に軽微な侵襲がある』とあるが、侵襲はないと考えられるので、修正する。

- ⑭ 実施責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 准教授 泉 博之

研究課題名： 介護ロボット等の導入教育が介護ロボットの活用にあつぼす影響

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である藤木委員は退席した。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザイン

本研究は、教育・研修プログラムを提供することから、3行目『非臨床・観察研究』は誤りであり、『非侵襲性の介入研究』に改める。

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法

教育・研修プログラムの実施時間数など具体的な内容を記述する。

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法 ②

評価対象の時間帯が、昼食介助の時間帯（午前 11 時～午後 1 時）になる可能性がある  
るので、説明文書にも記述が必要である。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 3) 対象者の負担、予測されるリ  
スクを最小化する対策

2～4 行目『対象者から精神的負担が大きく実施は困難との申し出があった場合は、当  
該対象者を本研究の対象者から外す』ことについて、参加者の方への説明文書にも記述  
が必要である。

施設利用者の方及び代諾者の方への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

誤植がある。8 行目 本研究のでは → 本研究では

12. 個人情報の取り扱い

施設利用者の個人情報は取り扱わないので、『個人情報』は『情報』に改める。

参加者の方への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

誤植がある。8 行目 本研究のでは → 本研究では

誤植がある。4. 研究方法 → 5. 研究方法

⑮ 実施責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 藤木通弘

研究課題名： 社員の睡眠衛生改善とパフォーマンス向上のための、睡眠衛生教育による  
介入効果の検討

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを  
委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施責任者である藤木委員は退  
席した。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法

睡眠衛生教育の具体的方法を記述する必要がある。

参加者の方への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

7～10 行目に重複した内容があるので、整理する。

11. 研究対象者等の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究  
の独創性の確保に支障のない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手  
又は閲覧できる旨並びにその入手又は閲覧の方法

誤植がある。3 行目 保険師 → 保健師

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

『5 年間保管したのち』の前に、『研究終了後』を追加する。

再提出に際し、研究課題名の一部変更（社員⇒従業員）、倫理審査研究計画書及び参加者の方への  
説明文書においても『社員』を『従業員』に変更することを委員長が確認することを条件に、本  
件については、承認することとした。

- ⑩ 実施責任者： 産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中谷淳子  
研究課題名： 中小規模事業場のメンタルヘルス対策における保健師の活動指針の開発  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを  
委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方への説明文書

1. 研究課題名  
倫理審査研究計画書等の研究課題名と不一致である。
7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク  
①として記述している内容は、倫理審査研究計画書にも記述する必要がある。

同意書

連絡先電話番号が他の書類を一致していない。

- ⑪ 実施責任者： 産業医科大学病院 神経・精神科 助教 古澤隆太郎  
研究課題名： 抑うつ症状が職業性ストレスに対する認識へ及ぼす影響  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを  
委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法  
人事上の介入について考慮しなくてよいのか。  
いつまでも寛解しない場合はどうするのか。

参加者の方（患者さん）への説明文書

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法  
『個人情報』は、『臨床データ』に改める。
19. 研究の実施に伴い、研究対象者の健康、子孫に受け継がれ得る遺伝的特徴等に関する重要な知見が得られる可能性がある場合には、研究対象者に係る研究結果（偶発的所見を含む。）の取り扱い  
対象者に余分な心配をかけることのないよう、ここは『本研究により、遺伝的特徴等に関する重要な知見が得られる可能性はありません』としたほうが良い。

同意書、同意撤回書

誤植がある。本文 1 行目 平成 32（2020）年 12 月 → 平成 32（2020）年 11 月

- ⑫ 実施責任者： 医学部 放射線科学 講師 林田佳子  
研究課題名： PET 撮像用 Mammo クッションを用いた乳癌 PET-CT の病変描出能の基礎的検討と臨床における乳腺 high resolution PET-CT 画像の有用性  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ⑬ 実施責任者： 医学部 小児科学 講師 本田裕子  
研究課題名： 20 歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ⑳ 実施責任者：医学部 リハビリテーション医学 助教 加藤徳明  
 研究課題名：脳障害者の自動車運転適性に関する研究  
 審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ㉑ 実施責任者：医学部 リハビリテーション医学 助教 加藤徳明  
 研究課題名：失語症および高次脳機能障害患者への経頭蓋直流電気刺激の効果  
 審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ㉒ 実施責任者：医学部 第2内科学 講師 荒木 優  
 研究課題名：冠動脈疾患に対する経皮的冠動脈形成術後に高尿酸血症治療薬を介入することの意義についての検討  
 審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ㉓ 実施責任者：産業医科大学病院 歯科口腔外科 学内講師 平島惣一  
 研究課題名：周術期口腔ケアにおける有効かつ効率的な口腔衛生指導パスの開発と検証  
 審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ㉔ 実施責任者：産業医科大学病院 総合周産期母子医療センター 助教 市川 俊  
 研究課題名：北九州市におけるパリビズマブ非接種期間中のRSV感染症による入院患者の推移およびその特徴に関する前方視的検討  
 審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ㉕ 実施責任者：産業医科大学病院 歯科口腔外科 学内講師 平島惣一  
 研究課題名：当科における新来患者の臨床統計学的観察  
 審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ㉖ 実施責任者：産業医科大学病院 歯科口腔外科 学内講師 平島惣一  
 研究課題名：口腔外科疾患の患者の周術期の栄養状態と周術期の回復への影響や生命予後との関連性について  
 審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

(2) 新規申請（迅速審査）

- ① 実施責任者：医学部 第2病理学 助教 野口紘嗣  
 研究課題名：腭過誤腫の病理診断に対してSTAT6免疫組織化学染色の有効性  
 審査要旨：審査の結果、「承認」とする。  
 なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である中山委員は退席した。
- ② 実施責任者：医学部 第2外科学 学内講師 米田和恵  
 研究課題名：胸部悪性腫瘍における免疫微小環境の変化に関する研究  
 審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ③ 実施責任者：医学部 第1外科学 講師 鳥越貴行  
 研究課題名：大腸疾患に対する手術、抗癌剤など包括的治療の効果と予後、QOLに関する



## 検討

審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

- ④ 実施責任者： 医学部 第1外科学 助教 勝木健文  
研究課題名： 乳腺・甲状腺・副甲状腺疾患に対する手術、薬物治療など包括的治療の効果と予後に関する検討  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 実施責任者： 医学部 第1外科学 助教 田村利尚  
研究課題名： 肝・胆道系疾患に対する手術、悪性疾患については化学療法など包括的治療の効果と予後、QOLに関する検討  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 実施責任者： 産業医科大学病院 眼科 助教 森田啓文  
研究課題名： 未熟児網膜症と家族性滲出性硝子体網膜症患者の黄斑部構造の評価  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 実施責任者： 産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典  
研究課題名： 小規模事業場経営者向けメンタルヘルス対策啓発資料の作成－専門職を対象としたメンタルヘルス対策に関する実態調査  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 実施責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 助教 永野千景  
研究課題名： 長時間労働者の医師による面接指導に関する調査  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 実施責任者： 産業医科大学病院 形成外科 講師 三宅順子  
研究課題名： 産業医科大学病院形成外科における過去10年間の基底細胞癌の統計解析  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑩ 実施責任者： 医学部 産科婦人科学 助教 原田大史  
研究課題名： 婦人科悪性腫瘍の治療後生存期間に関与する因子の後方視的検討  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑪ 実施責任者： 医学部 第1内科学 講師 中野和久  
研究課題名： 関節リウマチに対する分子標的療法の機械学習による最適化  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

### (3) 変更申請

- ① 実施責任者： 医学部 呼吸器内科学 講師 川波敏則  
研究課題名： 慢性肺アスペルギルス症の気道病変に対する一般細菌の役割の検討  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である矢寺委員は退席した。

- ② 実施責任者：医学部 第2内科学 准教授 園田信成  
研究課題名：血液透析患者における第2世代薬剤溶出性ステント留置後の抗血小板療法と出血性合併症の現状  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ③ 実施責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内正明  
研究課題名：全自動左室機能解析ソフトの予後予測能に関する検討  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ④ 実施責任者：医学部 第2外科学 講師 市来嘉伸  
研究課題名：神経内分泌肺腫瘍切除症例における予後規定因子の解析  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。  
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である藤野(善)委員は退席した。
- ⑤ 実施責任者：医学部 脳神経外科学 教授 山本淳考  
研究課題名：脳卒中の医療体制の整備のための研究：J-ASPECT study (Nationwide survey of Acute Stroke care capacity for Proper designation of Comprehensive stroke center in Japan)  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 実施責任者：医学部 脳神経外科学 教授 山本淳考  
研究課題名：J-ASPECT Study 「脳卒中センターの認証に向けた急性期脳卒中の医療の質評価事業：Close The Gap-Stroke」  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 実施責任者：医学部 脳神経外科学 教授 山本淳考  
研究課題名：一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業 (Japan Neurosurgical Database:JND)  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田智久  
研究課題名：企業と健康保険組合とのコラボレーションによる健康管理活動および保健事業の推進のための研究 (コラボヘルス研究)  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。  
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である藤野(善)委員は退席した。
- ⑨ 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中文啓  
研究課題名：腫瘍抗原の同定及び解析  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑩ 実施責任者：産業保健学部 広域・発達看護学 助教 森田祥子  
研究課題名：紙面による事例提供のない対話中心型看護過程演習の効果と課題  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

- ⑩ 実施責任者：産業生態科学研究所 放射線健康医学 教授 岡崎龍史  
研究課題名：東京電力福島原子力発電所緊急作業従事者の放射線生物学影響の解析  
「酸化ストレスマーカー尿中 8-OHdG の測定」  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

藤野(昭)委員長から、変更①及び⑩の2件については、委員から事前に指摘があったので、事務局に対応させたいとの説明があり、了承された。

## 7 その他

(1) 研究終了報告2件が承認された。

<終了報告> 2件

H23-41 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中文啓  
研究課題名：進行、再発肺扁平上皮癌に対するプラチナベース併用療法後のS-1維持療法 第II相試験

H26-023 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中文啓  
研究課題名：未治療進行・再発の非扁平上皮非小細胞肺癌を対象としたカルボプラチン＋パクリタキセル＋ベバシズマブ併用療法とシスプラチン＋ペメトレキセド＋ベバシズマブ併用療法のランダム化第II相臨床試験